

事業のご報告

第44期 株主の皆様へ

平成28年4月1日 ▶ 平成29年3月31日

株式会社MARUWA

証券コード：5344



株式会社 YAMAGIWA 株式会社 MARUWA SHOMEI 株式会社 MARUWA QUARTZ 株式会社 MARUWA CERAMIC

連結業績ハイライト

売上高

32,187 百万円

営業利益

4,953 百万円

経常利益

4,978 百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

2,850 百万円

当期決算のポイント

POINT
1

2期連続の増益

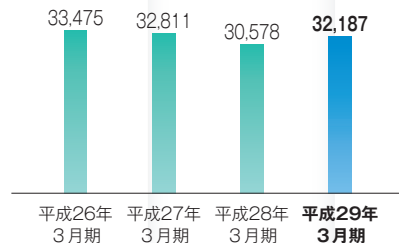
POINT
2

上場後、過去最高の利益

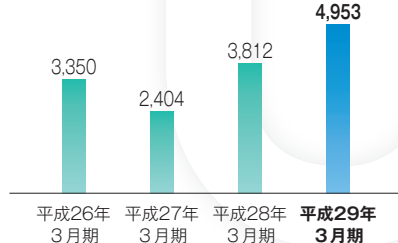
POINT
3

収益体質の強化

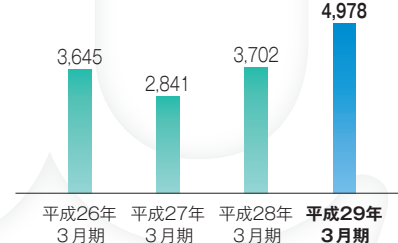
売上高
(百万円)



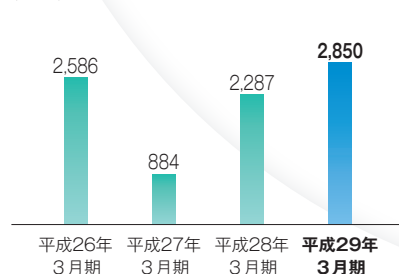
営業利益
(百万円)



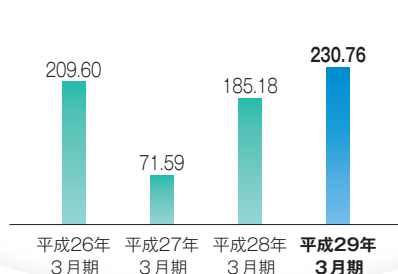
経常利益
(百万円)



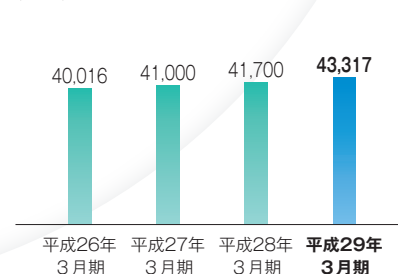
親会社株主に帰属する当期純利益
(百万円)



1株当たり当期純利益
(円)



純資産
(百万円)



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成29年3月31日をもちまして、第44期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに「第44期事業のご報告」をお届けし、事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

代表取締役社長



Q. 当期（平成29年3月期）を振り返っていかがでしたでしょうか？

A. 2期連続の増益を達成しました。

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は前期比5.3%増の32,187百万円、営業利益は同29.9%増の4,953百万円、経常利益は同34.5%増の4,978百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同24.6%増の2,850百万円となりました。

期初よりクラウドやストレージサービスなどの市場が好調に推移し、それらに使用される半導体や高速通信を実現させるためのインフラ投資などが米国や中国を中心に活発な一年となりました。また、照明市場では公共向け照明のLED化需要が好調に推移しました。さらに、東京オリンピックを見据えた、宿泊施設や公共施設の新設・改修案件も活況を呈してまいりました。

高付加価値品の増加や積極的な受注活動、業務の効率化による費用の削減などにより収益効果が表れ、昨年度に比べて大幅な増益となりました。

各事業セグメントの状況ですが、セラミック部品事業分

野におきましては、省エネ・環境関連市場ならびに通信インフラ関連市場や半導体関連市場に注力するなど、収益性の高い分野に特化してまいりました。

照明機器事業分野におきましては、収益性を重視した受注活動を行うとともに、弊社固有のセラミック技術や高い演色性を持つ独自開発のLED光源モジュールを利用した新たな照明機器をリリースするなどの販売活動を進めてまいりました。なかでも、YAMAGIWAにおいては量（売上高）を求めるのではなく、YAMAGIWAらしさを特徴とする付加価値の高い製品に特化するとともに、業務効率の改善などによる費用削減を行ったことから、事業全体として大きく利益を出すことが出来ました。

Q. 16年ぶりの最高純利益を達成しました。

A. 上場後最高益、今後の成長の基礎が整ってきました。

弊社は、もの作りの川上に位置する材料を基礎としたセラミック製品事業を継続しながら、その材料特性やもの作りを

熟知しているからこそ出来る新たな材料や応用製品、技術開発、さらには、高出力LED照明や高演色性LED光源モジュールなどのセラミック応用製品に事業展開を図ってきました。

セラミック部品事業につきましては、近年、環境や省エネに関する分野からの引き合いが強くなってきました。これは、高出力・高速通信化することによって電子機器等へ負荷が大きくなり、その環境下でも安定した特性を持つ材料が求られているためです。我々はいち早くその特性に特化し、技術の確立、開発・量産化、グローバル展開したことが、現状の収益力につながっているものと考えており、今後も先を見据えた開発に注力してまいります。

また、材料だけでなく更なる付加価値を高めた製品も出てきました。セラミック材料の特徴を活かしたまま、セラミックの表層や内部に回路パターンを成形することによって、新たな市場へ参入する製品も出来始めております。これらの製品は、今後のMARUWAの収益源となるもので国内のみならず、グローバルに展開を図っていく所存であります。

一方、照明機器事業セグメントは、選択と集中の考えをもとに2005年度より事業展開を図ってきました。我々が特化しているのは、セラミックをベースとしたMARUWAの材料技術が活かされている高出力LED照明や高演色LED照明です。

高出力LED照明は、道路、トンネル内などの主に公共向けに使用され、非常に高い出力のLED素子を利用しています。このLED素子は多くの熱を発生し、発光効率の低下などの要因となるため、熱対策の必要があります。そこで活躍するのがセラミック材料で、耐熱性に優れる特性の他に、熱を伝えやすい（熱伝導率が高い）特性を持ったMARUWAの材料を用い、機器に必要な特性を維持しながらも小型化やコストダウンなどが出来、他社に無い新しい製品を開発することが出来ます。

また、高演色LED照明はその光の質感を求める分野に使用されています。一般的なLED照明の光源は、対象物を照らす能力はあるものの、その質を表現する光はまだ少ない状況です。我々は光源からの開発に取組み、セラミックによる光の反射特性やLED素子の集積化など、MARUWA独自で高い光の質を表現出来る光源モジュールを作り出しました。具体的には、書物の文字を見やすくさせることで目の負担を低減させたり、対象物の色合いを限りなく自然に近い状態で見せることで本物の質感を表現させられるなど、他社に無い光を実現させました。

MARUWAグループが取組んできましたセラミックの材料技術・部品技術、それらを組み合わせたモジュール技術などによって、他社と差別化された製品を生み出すことが出来たと考えております。量（売上高）よりも質（利益）を追求することで、新たな技術や製品開発に注力し、管理体制の見直しや業務の効率化を進め、時代に合ったMARUWAらしい会社作りを行ってまいります。

Q. 来期（平成30年3月期）の見通しについてお聞かせください。

A. 増収増益を目指します。

第45期（平成30年3月期）連結業績予想

売上高	33,350百万円
営業利益	5,400百万円
経常利益	5,450百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,400百万円

当社グループが注力しているセラミックの特徴を活かした高出力、高周波対応が求められる通信関連市場や産業機器市場、要素技術を活かした半導体関連市場などは好調に推移するものと見込まれ、さらに成熟しつつあるLED照明の市場においては、付加価値の高い製品が求められる市場へと変化するものと予想されます。

次期の設備投資に関しましては、省エネ・環境関連・半導体関連事業、医療・光通信関連事業などへ国内・海外生産拠点ともに市場環境に適した投資を積極的にしてまいります。また、3年後を見据えた研究開発や技術部門に力を入れ、新たな高付加価値製品の開発を積極的に進めてまいります。さらに、管理本部においては、国内・海外事業部・販社へのサポート体制を拡充させるとともに、コンプライアンスやリスク管理を強化しグローバル企業としての地位を確立してまいります。

Q. 株主へのメッセージをお願いします。

A. 増配を継続します。

株主還元の本質である配当につきましては、利益還元を経営の最重要施策のひとつと位置づけており、安定的かつ継続的な配当を行っております。来期は、当期と比べて4円増配し、1株当たり年間44円（当期は1株当たり年間40円）を予定しております。

新たな目標として、株価を意識した経営活動を行ってまいります。

我々は、素材を武器にして選択と集中のもと、ニッチな市場でグローバルNo.1を目指してきました。その結果、当期は過去最高の利益を出すことが出来ました。これは、経

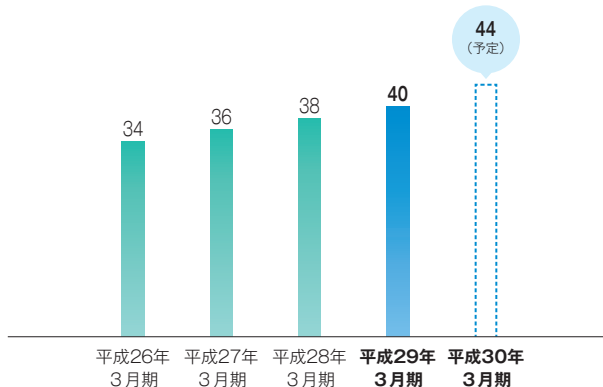
営に対する社員の全員参加と収益性向上への取組み、地域社会ならびに株主様からの応援が作り出したものと考えています。

我々が目指すゴールはまだ先にあります。決して、現状に満足しているわけではありません。さらなる成長に向けて、高付加価値の製品開発や量産化に向けた投資により、収益性を向上させていきます。

今後のMARUWAの成長性にご期待いただけるよう、経営に対する社員全員参加で努めてまいります。

今後とも当社グループの経営内容にご理解をいただき、ご支援・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1株当たり配当額（年間）の推移 (円)



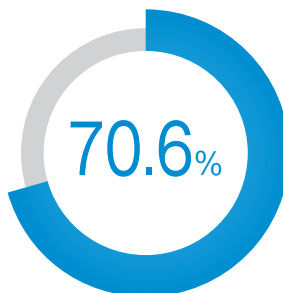
セグメント別の概況と事業領域

セラミック部品事業

売上高 **22,732**百万円

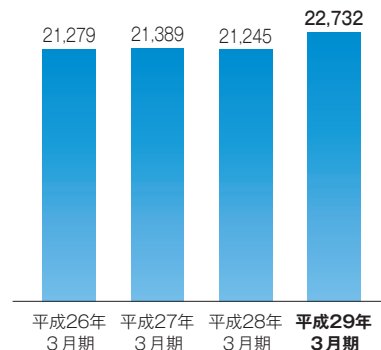
当事業セグメントにつきましては、期初より通信関連市場ならびに半導体製造装置向け製品などが好調に推移しました。これらの高付加価値製品の増収効果や費用削減効果等により、増収増益となりました。

売上高構成比



売上高

(百万円)

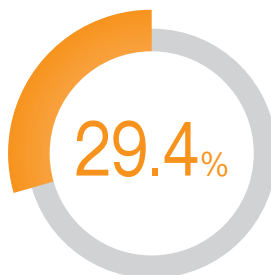


照明機器事業

売上高 **9,455**百万円

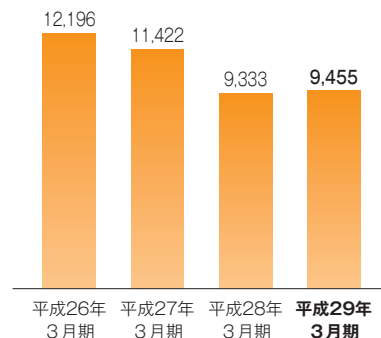
当事業セグメントにつきましては、公共関連照明においてLED化需要の取り込みが進んだことや、MARUWAグループの技術を融合した新製品が好調に推移したことにより、その付加価値の高い製品の増収効果や業務の効率化による費用の削減などにより、利益が大幅に改善しました。

売上高構成比



売上高

(百万円)

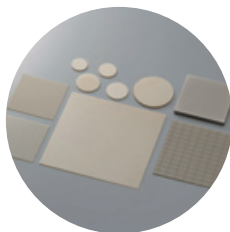


回路部品

電子回路の構成部品、パワーモジュール等に求められる絶縁性や放熱特性に優れたセラミック材料を使用した各種回路用セラミック基板。

主な製品

- 窒化アルミニウム基板
- アルミナ基板
- アルミナジルコニア基板
- 窒化ケイ素基板



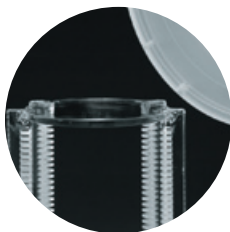
窒化アルミニウム基板

機構部品

耐磨耗性等の機械的強度に優れ、当社の高精密加工技術により生み出されるセラミック製品や、半導体製造装置向け高純度・高精度石英ガラス製品。

主な製品

- 石英ガラス製品
- 車載用マグネット製品
- 医療用セラミック製品
- 水栓用セラミック製品



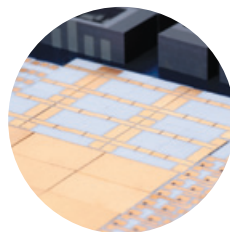
石英ガラス製品

高周波部品

携帯電話や光通信関連等の情報通信機器向けセラミック素材及び部品、車載向けをはじめとする高機能・高信頼性セラミック多層回路基板。

主な製品

- 多層回路基板
- 通信機器用薄膜回路基板
- アンテナモジュール基板
- マイクロ波部品



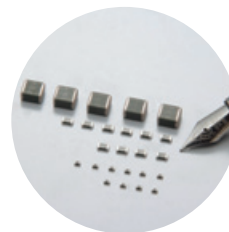
多層回路基板

EMC対策部品

ノイズ等の電磁波妨害からデジタル機器を保護するための部品や、自社セラミックを組み合わせた耐熱性と信頼性を高めた部品。

主な製品

- チップバリスタ
- 積層EMIフィルタ
- 貫通EMIフィルタ
- ワイヤーボンディングコンデンサ



チップバリスタ

照明機器事業

公共向けのLED道路照明や屋外・屋内用LED照明器具、LED光源モジュール及び優れた意匠性と高度な開発力を融合させた屋内外の各種オリジナルデザイン照明の計画・設計・実施管理。

主な製品

- LED屋外照明
- LED屋内照明
- LED光源モジュール
- 各種施設照明設計
- 住環境照明計画
- 調光制御システム



LED道路照明



LED屋外照明



各種施設照明設計

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	前期	当期
	平成28年3月31日	平成29年3月31日
流動資産	32,398	35,213
現金及び預金	15,380	18,027
受取手形及び売掛金及び電子記録債権	8,614	9,240
たな卸資産	7,287	6,872
その他	1,117	1,074
固定資産	16,152	15,381
有形固定資産	13,798	13,126
建物及び構築物	4,559	4,342
機械装置及び運搬具	4,913	3,876
土地	3,504	3,669
建設仮勘定	276	679
その他	546	561
無形固定資産	569	300
投資その他の資産	1,784	1,955
資産合計	48,550	50,594

負債及び純資産の部	前期	当期
	平成28年3月31日	平成29年3月31日
流動負債	6,318	6,764
支払手形及び買掛金	3,068	3,202
1年内返済予定の長期借入金	138	23
未払法人税等	590	1,025
その他	2,522	2,514
固定負債	531	513
長期借入金	115	—
繰延税金負債	77	187
その他	339	326
負債合計	6,849	7,277
株主資本	42,201	44,577
資本金	8,647	8,647
資本剰余金	11,947	11,949
利益剰余金	21,654	24,023
自己株式	△ 47	△ 42
その他の包括利益累計額	△ 502	△ 1,259
その他有価証券評価差額金	53	121
為替換算調整勘定	△ 555	△ 1,380
新株予約権	2	—
純資産合計	41,700	43,317
負債及び純資産合計	48,550	50,594

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
平成28年4月1日残高	8,647	11,947	21,654	△ 47	42,201	53	△ 555	△ 502	2	41,700
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 482		△ 482					△ 482
親会社株主に帰属する当期純利益			2,850		2,850					2,850
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分		2		5	8					8
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						68	△ 825	△ 757	△ 2	△ 759
連結会計年度中の変動額合計	—	2	2,369	5	2,376	68	△ 825	△ 757	△ 2	1,617
平成29年3月31日残高	8,647	11,949	24,023	△ 42	44,577	121	△ 1,380	△ 1,259	—	43,317

(注) 記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前期	当期
	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日
売上高	30,578	32,187
売上原価	19,594	20,297
売上総利益	10,984	11,890
販売費及び一般管理費	7,171	6,937
営業利益	3,812	4,953
営業外収益	220	219
営業外費用	330	194
経常利益	3,702	4,978
特別利益	4	7
補助金収入	—	6
その他	4	1
特別損失	60	684
事業整理損	—	230
減損損失	—	342
その他	60	112
税金等調整前当期純利益	3,645	4,302
法人税、住民税及び事業税	1,069	1,453
法人税等調整額	289	△ 1
当期純利益	2,287	2,850
非支配株主に帰属する当期純損失	△ 0	—
親会社株主に帰属する当期純利益	2,287	2,850

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前期	当期
	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,645	4,302
事業整理損	—	230
減損損失	—	342
減価償却費	1,903	1,822
のれん償却額	290	115
売上債権の増減額 (△増加)	95	△ 805
たな卸資産の増減額 (△増加)	△ 419	△ 59
仕入債務の増減額 (△減少)	△ 873	146
その他	△ 489	△ 744
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,154	5,349
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 1,343	△ 1,969
有形固定資産の売却による収入	7	12
その他	△ 340	709
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,675	△ 1,248
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△ 948	△ 231
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 0
自己株式の売却による収入	—	6
配当金の支払額	△ 457	△ 482
非支配株主への配当金の支払額	△ 1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,406	△ 707
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 222	△ 101
現金及び現金同等物の増減額 (△減少)	850	3,293
現金及び現金同等物の期首残高	13,684	14,541
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	7	—
現金及び現金同等物の期末残高	14,541	17,834

(注) 記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。

TOPICS

株主優待制度を導入します

弊社の社会貢献活動の一つとして開催しているMARUWA CHRISTMAS CONCERT（以下、クリスマスコンサートと言います。）が本年をもって10周年を迎えます。さらに、公益財団法人スペイン舞踊振興MARUWA財団は平成13年に設立以来、長年にわたり後援し続けることが出来ました。我々はこの活動を続ける中で、株主の皆様にも文化・芸術を楽しんでいただく機会が出来ないかと考えてきました。

そこで、クリスマスコンサートについては、これまで抽選ご招待の方法を一部見直し、株主様をご招待することといたしました。

さらに、文化・芸術のアーティスト公演などを対象とした株主優待を設けることといたしました。詳細につきましては、弊社ホームページなどでお知らせいたしますので、ぜひご覧ください。今後も、株主の皆様にも喜んでいただける会社作りをしてまいります。



2016年 MARUWA CHRISTMAS CONCERT

詳しくは弊社ホームページにてお知らせいたします。

<http://www.maruwa-g.com>

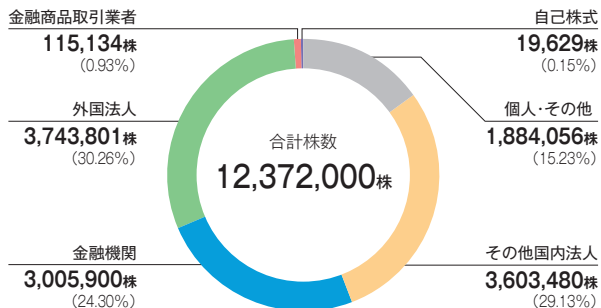
株式の状況／会社概要

株式の状況 (平成29年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数	26,000,000株
■ 発行済株式の総数	12,372,000株
■ 単元株式数	100株
■ 株主数	2,384名
■ 大株主 ※上位5名を掲載	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社神戸アート	3,523,520	28.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,016,800	16.30
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	597,400	4.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	484,800	3.91
HSBC-FUND SERVICES, SPARX ASSET MANAGEMENT CO LTD	359,700	2.90

所有者別株式分布



役員 (平成29年6月22日現在)

代表取締役社長	神戸 誠	取締役	及位 環	常勤監査役	熊谷 均
取締役	林 春行	取締役(社外)	北原 晴男	監査役(社外)	光岡 正彦
取締役	マニマラン・アントニ	取締役(社外)	立川 裕大	監査役(社外)	松本 茂裕
取締役	内田 彰				
取締役	神戸 俊郎				

会社概要 (平成29年3月31日現在)

商号	株式会社MARUWA
設立年月日	昭和48年4月5日
事業内容	エレクトロニクス用セラミックス・産業用セラミックス・電子部品及び照明機器の開発・製造・販売
資本金	86億4,672万円
従業員数	1,709名(連結)
本社	愛知県尾張旭市南本地ヶ原町三丁目83番地
工場	土岐工場(岐阜県土岐市) 瀬戸工場(愛知県瀬戸市) 直江津工場・春日山工場(新潟県上越市)
営業拠点	東京、愛知、大阪、福島、新潟、福岡、宮崎
国内子会社	株式会社MARUWA QUARTZ (福島県田村郡三春町) 石英ガラス製品の製造 株式会社MARUWA CERAMIC (愛知県尾張旭市) セラミック製品の製造 株式会社MARUWA SHOMEI (東京都港区) 照明機器の製造・販売 株式会社YAMAGIWA (東京都港区) 照明器具の企画・開発・販売、 照明・インテリア計画の実施及び 照明・家具の輸入・販売
海外	生産拠点 マレーシア、台湾、インド、イギリス 営業拠点 マレーシア、台湾、韓国、 中国(香港・上海)、イギリス、アメリカ

株主メモ／お知らせ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	剰余金の配当 3月31日 中間配当を実施する場合 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL (http://www.maruwa-g.com/ir/notification.html)
上場金融商品取引所	東京、名古屋、ロンドン、シンガポール
証券コード	5344

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
3. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座管理機関にお問合せください。

特別口座管理機関 | 三井住友信託銀行株式会社
連絡先 | 〒100-0005
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
電話 0120-782-031 (通話料無料)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

株主様窓口

株式会社MARUWA IR室
〒488-0044
愛知県尾張旭市南本地ヶ原町三丁目83番地
電話 0561-51-0839

WEBサイトのご案内

MARUWA WEBサイト内に、事業内容や株主様へのお知らせなどを掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.maruwa-g.com/ir/>

MARUWA IR

検索

株式会社MARUWA

